

令和6年度 第2回 東京都北区いのち支える セーフティネット協議会

令和7年1月22日（水）午後2時
北とぴあ 15階 ペガサスホール

1 令和6年度 自殺予防対策における取り組み

1) 自殺対策強化月間

- 令和6年9月
 - HP 及び 北区ニュース掲載
 - 庁内トイレへのステッカー貼付
 - リーフレット「こころのサインに気づいてください」配付
- 令和7年3月（予定）
 - HP 及び 北区ニュース掲載
 - 啓発グッズ配布



こころから始める健康	経済・生活	発達・人間関係	学校・教育・子育て
※相談・支援・手助けの窓口・相談・支援・手助けの窓口 ※こころのサインに気づいてください!! ※北区健康課 健康政策課	※生活困窮者支援センター ※生活困窮者支援センター ※生活困窮者支援センター	※発達障害者支援センター ※発達障害者支援センター ※発達障害者支援センター	※子育て支援センター ※子育て支援センター ※子育て支援センター

2) ゲートキーパー養成研修

講師 認定NPO国際ビフレンダーズ東京自殺防止センター 村 明子氏

▶ 区民向けゲートキーパー養成研修

- ・日 時 令和6年9月26日（木）
- ・対 象 北区在住・在勤者
- ・参加者 23名

▶ 職員向けゲートキーパー養成研修（試行）

- ・日 時 令和6年10月3日（木）※職員課共催
- ・対 象 健康部・福祉部相談担当の主任級職員
- ・参加者 28名

1-2

2 令和7年度 新たな取り組みについて

1) -① 北区ゲートキーパー研修の目的と体系

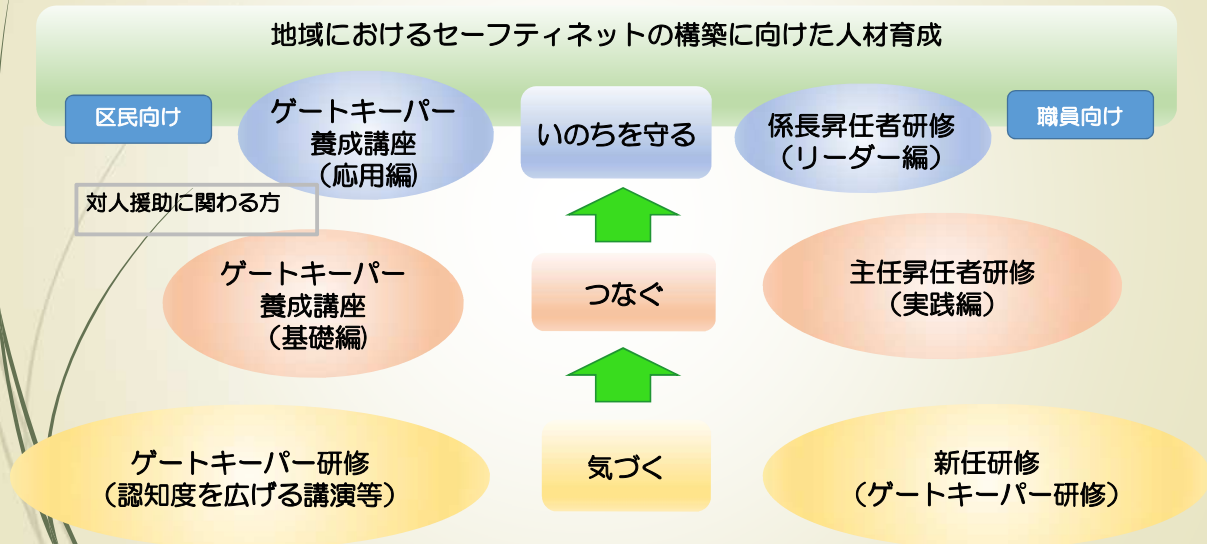
○「ゲートキーパー」への区民への認知度を高め、

- ・自殺予防
- ・自殺予防対策への理解
- ・地域における社会資源への創出へつなげる

○「ゲートキーパー」を養成し、地域における
セーフティネットを構築する

2-1

～ ゲートキーパー研修の体系化のイメージ ～



2-2

(参考) 令和7～10年度の受講者目標数 延べ3,040人

区民等対象		R7	R8	R9	R10	
初級	ゲートキーパー研修(2回/年)	200人 (100人×2回)	200人 (100人×2回)	200人 (100人×2回)	200人 (100人×2回)	800人
中級	ゲートキーパー養成講座(基礎編) (2回/1クール×2回/年)	160人 (40人×4回)	160人 (40人×4回)	160人 (40人×4回)	160人 (40人×4回)	640人
上級	ゲートキーパー養成講座(応用編) (2回×年)*R7は年1回	40人 (40人×1回)	80人 (40人×2回)	80人 (40人×2回)	80人 (40人×2回)	280人
計		400人	440人	440人	440人	1720人
庁内職員		R7	R8	R9	R10	
初級	新任研修ほか	200人	200人	200人	200人	800人
中級	主任昇任者研修ほか(実践編)	80人 (40人×2回)	80人 (40人×2回)	80人 (40人×2回)	80人 (40人×2回)	320人
上級	係長昇任者研修ほか(リーダー編)	50人	50人	50人	50人	200人
計		730人	770人	770人	770人	1320人

2-3

1) -② 区民向け ゲートキーパー研修

- ▶ 目的 自殺予防対策の一環として、「ゲートキーパー」への区民への認知度を高める。
- ▶ 目標 「ゲートキーパー」とは何かを理解できる
(+α 声かけができる)
- ▶ 対象 区民、区内在勤・在学者
※対人援助活動に関わる方（団体）及び教育機関等の従事者には優先して受講を働きかける

2-4

1) -③ 区民向け ゲートキーパー養成講座

- ▶ 目的 地域における「セーフティネット」の一員として活躍する人材を育成
- ▶ 内容
 - ・ゲートキーパー養成研修（基礎編）
2日制(2時間×2回) 40名/回 年2回実施
 - ・ゲートキーパー養成研修（応用編）2時間
体験事例の共有などのフォローアップ
- ▶ 対象 対人援助活動等に関わる方（団体）

2-5

1) -⑤ 職員向け ゲートキーパー養成研修

■ 目 的

- ・区職員として自殺予防の観点から対人援助能力の向上を図る
- ・全庁を挙げた自殺予防対策の機運を醸成する

■ 実施方法

新規採用、主任、係長の職層研修に、役職に応じたレベルアップのためのカリキュラムを設定する

■ 導入スケジュール

新規採用は既に導入済、今後順次、主任及び係長研修に導入するため令和7年度は福祉、健康、子ども分野での試行を準備中

2-8

2) -① つなぐシートの導入

- 7年度試行を目指して幹事会のもとにワーキングチームを設置
- 8年度以降、全庁窓口での導入、活用を目指す

目 的

- 相談者が整理された相談内容を持って、次の相談部署へ相談に行くことができる
- 相談内容に対して、最適な部署での相談ができる
- 各窓口との連携により、追い込まれる前に問題の解消への取り組み

3-1

4) -② つなぐシートワーキンググループの設置

●検討及びモデル実施のスケジュール

	令和6年度					令和7年度													令和8年度	
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
実施	●シート内容の検討		●調査内容検討			●モデル実施および調査				●全庁試行				●本格実施						
WG	①		②					①								②				
幹事会			進捗報告					進捗報告												

＜メンバー構成＞ 幹事会構成各課より係長級1名

＜検討事項＞

- ・北区版「つなぐシート」の内容について
- ・効果的な運用の方法について
- ・試行運用後の評価・修正 など

3-2

参考1

（仮）北区版「つなぐシート」案

表

受付日	令和 年 月 日	〇〇〇課
(対応者)		
相談支援の検討・実施にあたり、私の相談内容を記録することおよび、私の相談内容が必要となる関係機関（者）と情報共有し、保管・集約することに同意します。 (複数人の場合は、全員の署名をお願いいたします)		
ご 署 名		
最初に来られた方		
(ふりがな)	生年月日	〇西暦 〇大正 〇昭和 〇平成
氏 名	年 月 日	(歳)
住 所	北区	連絡先
お困りの事 □来談者ご本人の問題ですか？ □ほかの方の事ですか？ (来談者から見た続柄:)		
お困りの内容		
病気や健康・障がいのこと	住まいについて	収入・生活費のこと
家賃やローンの支払いのこと	税金・公共料金の支払い	債務について
仕事探し、就職について	仕事上の不安・トラブル	地域・近隣との関係
家族との関係について	子育てのこと	介護のこと
ひきこもり	DV・虐待	変えるものがない
学校のこと、不登校		
(その他)		
◆上記のお困りのことを具体的に教えてください。		

裏

今後相談が必要と思われる相談内容と部署 □からだ □こころ □介護 □子育て □お金 □学校のこと □しごとのこと □家族のこと □その他 ()	
紹介先①	課 係
相談目的、内容	
令和 年 月 日 来所	
結果・方針: 継続 終了 紹介 () その他 ()	
紹介先②	課 係
相談目的、内容	
令和 年 月 日 来所	
結果・方針: 継続 終了 紹介 () その他 ()	
紹介先③	課 係
相談目的、内容	
令和 年 月 日 来所	
結果・方針: 継続 終了 紹介 () その他 ()	

3-3

参考2 ワーキンググループ 意見集約

- ▶ シートについて
 - ・分量はA4 1枚程度でよい。
 - ・誰に書いてもらうのか、わかりにくい。
 - ・（職員記載ならば）電子化できないか？
- ▶ その他
 - ・「こども」への対応ができるように
 - ・相談者の切迫感への気づきやつなぐ知識が必要。
 - ・最初の窓口で相談者の困り感等をキャッチできないとシートを活用できない
- ▶ 運用について
 - ・どのような時に記載するのか？
 - ・作成基準が必要
 - ・「つなぐ」先のマニュアルがあるとよい
 - ・「重い」相談の際に、記載しにくい。
 - ・個人情報の取り扱い
 - ・途中で途切れないか？
 - ・業務負担が増えるのではないか？
 - ・庁内外へも広げるのか？

3-4

2) -③ 「（仮）つなぐシート」課題

- ▶ 誰が記載するのかを明確にする。
- ▶ 作成にあたり、運用基準、マニュアル等の整備
- ▶ 「こども」への対応ができるように
- ▶ 電子化について



気づきやつなぐ知識が必要

3-5

3 その他 * 今後の日程 *

▶ 令和7年6月頃

▶ 第3回 北区いのち支えるセーフティネット協議会

会場：北とぴあ

【参考】

▶ 2～3月頃

▶ 第3回 北区自殺対策推進本部幹事会

▶ 2～3月頃

▶ 第2回「(仮称)つなぐシート」ワーキンググループ